

ユーザー訪問 (株)コスモ薬局

入力しやすく、ツールも豊富な『Recepty』を採用

神奈川、千葉、東京などでチェーン展開する(株)コスモ薬局は、レセプトコンピュータにEMシステムズの『Recepty』を選んだ。入力のしやすさ、充実した経営者支援ツールに加え、迅速なサポートが得られていることで、満足度が高いと評価している。

ドクターとの連携を密にし、「医療機関の一つ」としての使命果たす

「スタッフである薬剤師の話真剣に聞き、彼らの提案や希望・夢が実現できるように努めています。私が薬剤師にやさしく接することで、薬剤師に心のゆとりが生まれ、患者さんにやさしく接することにつながると考えています」

(株)コスモ薬局の社長、星野律子氏は経営者としての姿勢をこう示す。そうした姿勢は、星野氏が掲げる“一人ひとりの患者さんが見える薬局”として反映されているようで、「コスモ薬局で薬をもらいたい」と、遠方から来る患者さんも多いという。

同社は1998年、千葉縣市川市に1号店を開局、10年目となる今夏まで18店舗を運営するに至っている。各店舗の所在地が千葉、神奈川、東京、福島、富山と分散しているのは、「ドクターありき」で開局しているからだ。主にクリニックモールでの開設を得意としている同社としては、ドクターとのコミュニケーションが何よりも重要だと考えており、事前に十分に話し合ってから薬局を設ける。

「ドクターとの連携を密にし、信頼関係をしっかりと築くこ

とで、ドクターの処方意図も明確になり、きめ細かい服薬指導が可能になると思います」

今年、後発医薬品使用促進のため、処方せん様式が変更されたが、その前の2006年時の処方せん様式変更の際、すでにコスモ薬局では各病・医院と勉強会を



クリニックモール内にあるコスモ薬局桜木町店(横浜市中区)



開くなどして後発医薬品への対応を決めてきた。そのため、今春になってあわてることもなく、スムーズに投薬が行われているという。ドクターとの良好なコミュニケーションを示す一例だ。

今後の薬局運営に関し、星野氏は次のように話す。

「1号店を開局して10年が経ちましたが、薬局を取り巻く環境がこれほど変わるとは思ってもみませんでした。今後、薬局は“医療機関の一つ”としての役割がよりいっそう求められるようになると思いますし、当社も使命感を持ってそれを果たしていきたいと考えています」

入力しやすく、経営者支援ツールも充実したレセコンシステム『Recepty』

コスモ薬局では、レセプトコンピュータとしてEMシステムズの『Recepty』を導入している。入力方式が一般のパソコンに近く導入しやすいこと、薬剤写真の画像が非常に鮮明だったことなどが決め手となったという。

「『Recepty』は、入力画面がとても見やすく、使う人にとってやさしく作られたレセコンシステムだと思います。また、効率を高める在庫管理システムや、経営状況が的確に把握できる経営者支援ツールが充実しているのも『Recepty』の特長の一つといえます。さらに、EMシステムズのサポートが迅速かつ丁寧であることも高く評価できます」と星野氏は指摘する。

ユーザーから高評価を得ている『Recepty』は今年、使った分だけ支払うリーズナブルなレンタルプランも設けられ、初期投資を大幅に抑えることができるようになったことも話題となっている。

これまで星野氏は「心に刻み付けたい」として紙薬歴にこだわっていたが、そろそろ電子薬歴への切り換えを考慮しているという。そのときは、EMシステムズの服薬指導支援型電子薬歴システム『Navity』を第一候補にしたいとしている。



スタッフとともに(桜木町店)